

AEDの使い方を知ろう

作成：株式会社 中川工業所



救急車が到着するまでの平均時間は

【約6分】

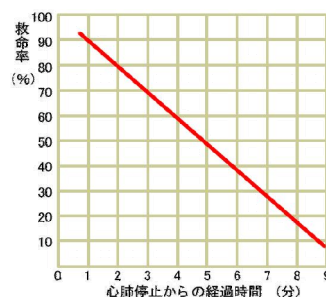
(平成19年版 消防白書より)

心肺蘇生法を開始する時間が「1分」遅れるごとに、命が助かる確率は「7～10%」低下していき、「10分」経過してしまうと、ほぼ助からない状態となってしまいます(右グラフ参照)。

また、完全に心臓が停止し、脳に酸素が送られない状態が「3～4分」以上続くと、助かっても重い後遺症が残る恐れがあります。

救急車が到着するまでの平均時間が「約6分」であることから、救命の鍵は現場に居合わせた私達の応急手当です。

表. 心肺停止時間と救命率



倒れている人を発見したら・・・

①AEDを用意

時間短縮のため、できる限り役割分担しましょう。
近くの人に名指しで「AEDを持ってきて下さい」、「119番通報して下さい」と頼みましょう。

AEDが到着するまでの間は、心臓マッサージ・人工呼吸を行います。

周りに人がいない場合は、自分でAEDを取りに行き、その際に119番通報も行います。



②呼吸を確認

倒れている人が呼吸をしているかを確認します。
呼吸がしていることがハッキリと分かる(正常な呼吸)場合はAEDは必要ありません。
出来れば回復体位で救急隊の到着を待ちましょう。

③呼吸が確認出来ない場合

倒れている人が呼吸をしているかどうか分からない場合はAEDを使う準備をします。
上着をめくるかボタンを外して胸を露出させます。
時間との勝負なので、呼吸確認は明らかな場合以外、AEDを使うと考えてよいでしょう。

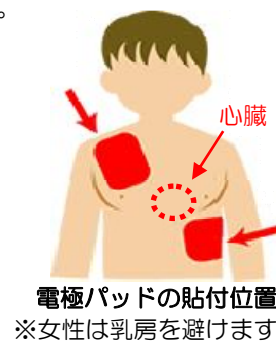
④AEDの電源をONにする

電源ボタンを押すタイプと、ふたを開けると自動で電源ONになるタイプがあります。
以下は音声ガイダンスが発生しますが、大まかな流れを続けて説明します。

⑤胸に電極パッドを貼り、心電図を解析

電極パッドを貼る位置は胸の「右上と左下」で、心臓をはさむように貼ります。
身体が濡れている場合は軽く拭いてから、胸毛が多い場合は強く押し付けて、確実に貼り付けます。

電極パッドを貼付け、ケーブルを本体に接続すると、AEDが心電図を読み取り解析します(心電図開始は機種により自動と手動があります)。
ここで注意するのが、倒れている人に触れていると正確な解析が出来ないので、心臓マッサージ中であっても一旦倒れている人から離れましょう。



⑥電気ショックを実行

30秒～45秒で心電図の解析が終了(新しい機種なら10秒程度)し、AEDが電気ショックが必要かどうかを判断します。電気ショックが必要な場合は、判定～充電～実行までを音声ガイダンスしますので、心電図と同様に倒れている人に触れないように注意しましょう。

電気ショックの実行はボタンひとつですので、患者から全員が離れている事を確認してボタンを押します。
AEDがショック不要と判断した場合は充電されませんので、間違っても実行ボタンを押しても大丈夫です。

実行後、AEDが再度心電図を解析します。その結果、再実行が必要かどうかをガイダンスします。
不要と判断された場合は救急隊を待つのみですが、再度必要と判断された場合は再充電の間、心臓マッサージを行い、再充電後に患者から全員が離れている事を確認して再度実行ボタンを押します。
再実行不要と判断されるまでは、救急隊到着までこれを繰り返します。

最後に・・・

AEDの使用には資格は必要ありません。そのように作られています。裏返せばAEDを使ったために人を死なせてしまうということを心配する必要は無いので、万が一のときは躊躇せず実行しましょう。